

## 第5回 湖南省庁舎整備計画検討委員会の議論のポイント

### ■これまでの議論のおさらい

- 耐震性を中心とした庁舎の現状、ライフサイクルコストなど整備の効率性等を踏まえ、市民意向（アンケート調査）やタウンミーティング（4回開催）では、東庁舎については新築・建替えの方向性で進めていくのが良いという意見が多くありました。
- また、東庁舎の新築・建替えに当たっては、東庁舎・西庁舎・サンライフ甲西・保健センター・石部保健センターに分散した行政機能を集約し、市民の利便性向上と庁内連携の効率化を図るとともに、DXの推進により総合窓口（ワンストップサービス）や書かない窓口システム等の導入、ペーパーレス化等を進める方向性が共有できました。
- 敷地利用計画については、以下の方向性で検討を進めています。

- ・新庁舎の位置：県道4号線側の高台
- ・駐車場：現状と同等 300 台
  - ：災害時は防災広場として活用
  - ：立体駐車場（旧東庁舎を解体しない場合）
- ・動線：歩行者と自動車が交錯しない動線
  - ：北側は立体駐車場からの動線
  - ：庁舎利用以外の通り抜け防止対策
- ・周辺とのつながり
  - ：図書館、文化ホール、森北公園と庁舎のつながり
  - ：公園、広場の一体的な利用
- ・東庁舎の活用
  - ：A案 モニュメント的な利活用
  - ：B案 市民スペースとして利活用
  - ：C案 解体、平面駐車場



- 西庁舎については、西庁舎周辺整備ワークショップ等を踏まえ、令和8年度を目途に、今後、引き続き、検討を継続します。

### ■議論のポイント

#### 1. 湖南省庁舎整備基本計画（案）について

- ・これまでの検討結果を踏まえ、「湖南省庁舎整備基本計画（案）」を取りまとめました。
- ・東庁舎の新庁舎の導入機能やフロア構成、ゾーニングに加えて、新庁舎の面積規模（P. 34～P. 36）、整備事業方式（P. 40）、概算事業費（P. 41）、財源（P. 41）についても取りまとめしています。
- ・東庁舎（新庁舎）は、パブリックコメント等を経て基本計画を取りまとめ、基本設計・実施設計に繋げていきます。

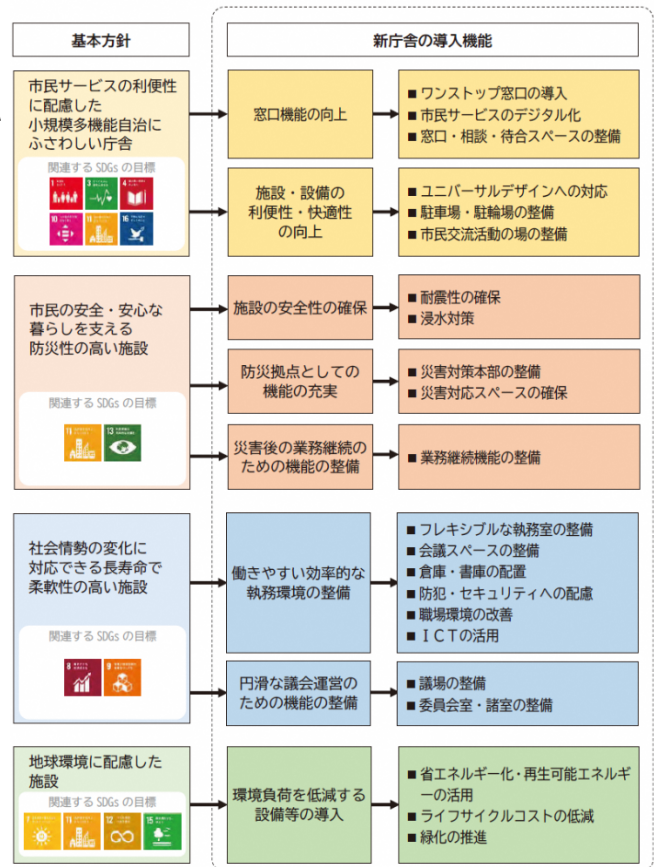
## 2. 東庁舎周辺整備基本計画について

### (1)新庁舎の導入機能について

(P. 18～P. 30)

- ・「市民サービスの利便性に配慮した小規模多機能自治にふさわしい庁舎」
  - ：窓口機能の向上
  - ：施設・設備の利便性・快適性の向上
- ・「市民の安全・安心な暮らしを支える防災性の高い施設」
  - ：施設の安全性の確保
  - ：防災拠点としての機能
  - ：災害後の業務継続のための機能
- ・「社会情勢の変化に対応できる長寿命で柔軟性の高い施設」
  - ：働きやすい効率的な執務環境
  - ：円滑な議会運営のための機能
- ・「地球環境に配慮した施設」
  - ：環境負荷低減設備等の導入

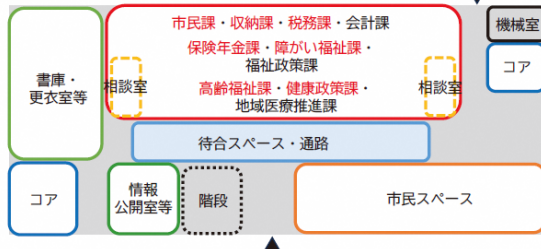
★東庁舎の新庁舎に欲しい機能、大切にしたい視点など



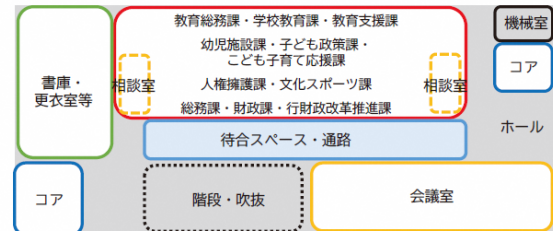
### (2)新庁舎のフロア構成、ゾーニングについて (P. 33)

- ・1階：総合窓口・ワンストップ窓口
- ・2階：教育・福祉関係・市運営関連部署
- ・3階：災害対応関連部署
- ・4階：議会関連

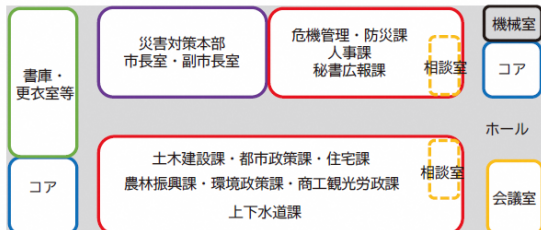
#### <1階：総合窓口・ワンストップ窓口>



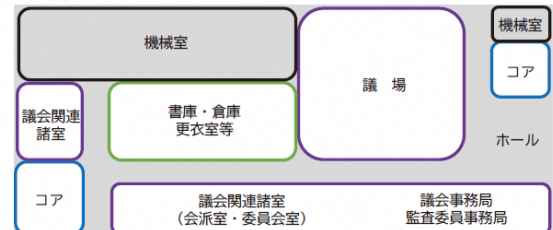
#### <2階：教育・福祉関係・市運営関連部署>



#### <3階：災害対応関連部署>



#### <4階：議会関連>



★市民が利用しやすい東庁舎の新庁舎のフロア構成、ゾーニングについて など